

# 第 24 回 東北森林科学会大会

2019 年度(令和元年度)

## プログラム

と き : 2019 年 8 月 29 日 (木) ~30 日 (金)

と ころ : 国立大学法人 山形大学農学部

(〒997-0037 山形県鶴岡市若葉町 1-23)

主 催 東北森林科学会  
共 催 一般社団法人 日本森林学会  
一般社団法人 日本森林技術協会  
後 援 山形県 国立大学法人山形大学

第 24 回東北森林科学会大会運営委員会

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8 岩手大学農学部森林科学科内

事務局 : TEL & FAX 019-621-6141 (白旗 学)

E-mail : kikaku@tsfs.jp

## 大会に参加される皆様へ

### 受付

日時 8月29日(木) 午前9時30分より

場所 3号館3階ホール

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払いください。

大会参加費(当日) (要旨集代を含む)	2,500円(一般), 500円(学生会員)
懇親会参加費(当日)	5,000円 (当日参加はお断りする場合があります)

### 総会

日時 8月29日(木) 17:00-18:00

場所 301講義室(3号館3階)

### 懇親会

日時 8月29日(木) 18:30-20:30

場所 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10, Tel 0235-24-7611)

### 編集委員会

日時 8月29日(木) 10:30-11:30

場所 201講義室(3号館2階)

### 理事会

日時 8月29日(木) 11:30-13:00

場所 201講義室

### 昼食、宿泊等について

昼食及び宿泊につきましては、各自でご対応いただきますようお願い致します。なるべく公共交通機関をご利用ください。

### 学生優秀発表賞

学生優秀発表賞(学生ポスター賞)は、学生が発表する8月29日のポスターセッション(番号1~12)より選考し、同日の総会にて受賞者が発表されます。

## 大会日程

	8月29日(木)		8月30日(金)	
9:30				
10:00	受付		ポスター準備	口頭発表
10:30				
11:00	ポスター準備	編集委員会	ポスターセッションB	
11:30				
12:00	ポスターセッションA	理事会		
12:30				
13:00			ポスター回収	
13:30				
14:00		テーマ別セッションA		
14:30				
15:00				
15:30	ポスター回収／準備			
16:00				
16:30				
17:00	東北森林科学会総会			
17:30				
18:00				
18:30				
19:00	懇親会			
19:30				

## テーマ別セッション

■ **テーマA**      8月29日(木) 14:00-17:00    301講義室(3号館3階)

森の恵みをどう活用し、森を継続していくか

コーディネーター：齊藤正一（山形県森林研究研修センター）

伐採・再造林が活発化するなかで、様々な課題があげられている。①資源状況を熟知した上でのより効率的な利用技術はどうしたらいいか、②高齢化が進む中で伐採後の再造林をいかに効率的に低コスト化していくか、③伐採生産される材を木材だけではなく抽出成分などとして多用途に利用できるか、④木材生産のみならず高収入を得るための手法はあるのか等、森林資源の利用に関してさまざまな展開の必要性が指摘されている。今回は、これら森林資源利用の実態と今後森林を継続していくための課題について話題提供していきたい。

- 1 東北地方における森林資源の現状と利用可能な資源量  
—マーケットインを志向した資源供給シミュレーション—

瀧 誠志郎（森林総研）、高田克彦（秋田県大）

- 2 ワラビの植栽による伐採跡地利用とスギ植栽のメリット・今後の展開  
中村人史（山形県森研セ）
- 3 森林の化学利用 ―樹木抽出成分の多様性と利用の可能性―  
芦谷竜矢（山形大農）
- 4 マツタケの安定的な生産に向けた取り組み  
成松眞樹（岩手県林技セ），山口宗義（森林総研）

## ポスターセッション

今大会も2日間に分けて実施します。セッション開始時刻までに、ご自分の番号（下記参照）のパネルにポスターを貼ってください。開催要領でご案内のとおり、パネルは「幅 90cm, 高さ 210cm (縦長)」です。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明し、質疑を受けて下さい。

### ポスターセッション1日目

8月29日（木）11:30-14:00 302講義室（3号館3階）

10:30-11:30 ポスター準備

13:00-14:00 コアタイム

14:00-17:00 ポスター回収

- 1 冷温帯におけるヒメボタルの生息環境評価：山形県高館山周辺の事例  
栗田享佐（山形大院），斎藤昌幸（山形大農）
- 2 モウソウチクの隣接森林への侵入メカニズム  
王 莫非（岩手大院連農），森 茂太（山形大農），黒澤陽子（岩手大院連農）
- 3 作業道の開設と維持管理によってイヌワシの採餌環境の改善が可能か  
伊藤実穂，藤原 崇（山形大院），小林俊裕，林田光祐（山形大農）
- 4 気候に応じた落葉広葉樹林の森林サイズ構造 ―山形県と宮城県の日本海側から太平洋側にかけて―  
近藤裕貴（山形大院）
- 5 多雪地域の森林に生息する中型食肉目3種（キツネ・タヌキ・テン）の冬季および春季の日周活動  
渡部凌我，斎藤昌幸（山形大農）
- 6 オオバクロモジの培養細胞と無菌苗の調整  
春田黎暉，佐藤愛美，芦谷竜矢（山形大農）
- 7 岩手大学滝沢演習林におけるカミキリムシ相の長期的変化  
松村修平（岩手大院），白旗 学（岩手大農），中村克典（森林総研東北），前原紀敏（森林総研）
- 8 根が牽引する地上部の成長：ブナ芽生え～成木へ  
黒澤陽子，王 莫非（岩手大院連農），森 茂太（山形大農）
- 9 大規模な地震発生後に崩壊が発生した斜面の地形的特徴  
石川丈瑛，井良沢道也，深澤真聖，小泉瑛智，後藤伶央（岩手大農），林一成（奥山ボーリング株式会社）

- 10 漏脂病に罹患したヒノキ各部位の成分分析  
大橋なほか, 高橋礼奈, 高橋孝悦, 芦谷竜矢 (山形大農)
- 11 チシマザサの成長に伴う成分変化  
佐々木海帆 (山形大院), 古澤優佳 (山形県森研セ・岩手大院連農), 芦谷竜矢 (山形大農)
- 12 コウヨウザン枝部逐次抽出物の抗蟻活性  
齋藤聖馬 (山形大院), 齋藤聖馬, 細田周吾, 高橋孝悦, 芦谷竜矢 (山形大農), 楠本倫久, 橋田光 (森林総研)
- 13 ショウロ接種苗の植栽試験  
目黒 渚, 渡邊広大 (宮城県林技セ), 栗栖敏浩 (株式会社松本微生物研究所)
- 14 マツタケの栄養成長に及ぼすアミノ酸の影響  
菅原冬樹 (秋田県林研セ)
- 15 秋田県における菌床シイタケ経営の現状と課題  
三浦正嗣, 菅原冬樹 (秋田県林研セ)
- 16 初心者が行うタワーヤーダの運用と課題  
高野雄太 (山形県森研セ), 高橋宏治 (山形県村山総合支庁森林整備課)
- 17 地上レーザスキャナー3D walker による3つのスギ林分での森林資源調査の分析  
小谷英司 (森林総研東北), 細田和男, 西園朋広, 北原文章 (森林総研)
- 18 東北地方における広葉樹資源の価値向上に関する研究  
ー岩手県の広葉樹利用と今日の需要特性を中心としてー  
大塚生美, 小谷英司, 太田敬之, 梶本卓也, 大貫靖浩 (森林総研東北)
- 19 積雪地における単木シカ防護資材の使用可否の調査  
古澤優佳, 千葉 翔 (山形県森研セ)

## ポスターセッション2日目

8月30日(金) 10:30-13:00 302講義室(3号館3階)

9:30-10:30 ポスター準備

12:00-13:00 コアタイム

13:00-14:00 ポスター回収

- 1 東北育基本区で開発されたマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの抵抗性評価  
井城泰一, 宮本尚子, 谷口 亨 (森総研林木育種セ東北)
- 2 特定母樹ミニチュア採種園におけるジベレリン雄花着花特性  
川上鉄也 (福島県林研セ)
- 3 耐雪性スギの材質指標に関する樹幹内半径方向の変動  
宮下智弘, 渡部公一 (山形県森研セ), 瀧 誠志郎 (森林総研), 工藤佳世, 高田克彦 (秋田県大)
- 4 カラマツの1年生実生苗を台木とした挿し木増殖における台木家系の発根及び成長への影響  
田中功二 (青森県産技セ林研)

- 5 スギ花粉症対策品種等の挿し木コンテナ苗の増産技術開発  
山崎修宜, 今野幸則, 河部恭子 (宮城県林技セ)
- 6 底面かん水によるカラマツのコンテナ育苗と先枯病の発生  
渡部公一 (山形県森研セ)
- 7 異なる仕様で植栽されたクロマツの地上部及び地下部の成長  
新田響平 (秋田県林研セ)
- 8 スギ苗生産における一粒直播きの試みと課題  
佐藤博文 (秋田県林研セ), 岩倉宗弘 (九州計測器), 松田 修 (九州大院)
- 9 地表処理の有無とササ地からの距離がオオシラビソ実生の発生に与える影響  
千葉 翔 (山形県森研セ), 林田光祐 (山形大農)
- 10 大又赤倉国有林における 120 年生カラマツ人工林の成長と広葉樹の定着  
酒井 敦, 野口麻穂子, 齋藤智之, 太田敬之, 直江将司, 梶本卓也 (森林総研東北),  
櫃間 岳 (国際農研), 正木 隆 (森林総研)
- 11 山形県におけるスギ皆伐跡地の天然更新状況  
高橋 文, 高野雄太, 工藤吉太郎 (山形県森研セ)
- 12 スギとの混植及び苗木サイズがブナの生育に及ぼす影響 -水源林造成地 20 年間の成績-  
和田覚, 金子智紀, 金澤正和 (秋田県林研セ)
- 13 オノエヤナギにおける最適な挿し穂サイズの検討  
矢野慶介, 那須仁弥, 宮本尚子 (森総研林木育種セ東北), 宮下智弘 (山形県森研セ)
- 14 直材の採れる広葉樹林の条件 -岩手県北部の広葉樹施業林の事例-  
太田敬之, 小谷英司, 大塚生美 (森林総研東北)
- 15 青森県南西部のナラ枯れ被害木へのカシノナガキクイムシ穿入密度  
伊藤昌明 (青森県産技セ林研)
- 16 山形県において発生した森林被害IV  
斉藤正一, 古澤優佳, 千葉翔 (山形県森研セ)
- 17 スギ人工林における 2018/2019 積雪期および 2019 春期の樹冠通過降水量  
田村浩喜, 新田響平, 和田覚, 金子智紀 (秋田県林研セ)
- 18 スギ人工林の間伐が水流出に及ぼす影響  
金子智紀, 和田覚, 新田響平, 田村浩喜 (秋田県林研セ), 野口正二 (森林総研)
- 19 釜淵森林理水試験地における間伐後の浮遊土砂流出 (速報)  
阿部俊夫 (森林総研東北), 久保田多余子, 小川泰浩 (森林総研)
- 20 静電容量計測によるクロマツ根量の非破壊推定について  
萩野裕章 (森林総研東北), 田中 淳 (国土防災技術株式会社)

## 口頭発表

8月30日(金) 9:45-11:30 301講義室(3号館3階)

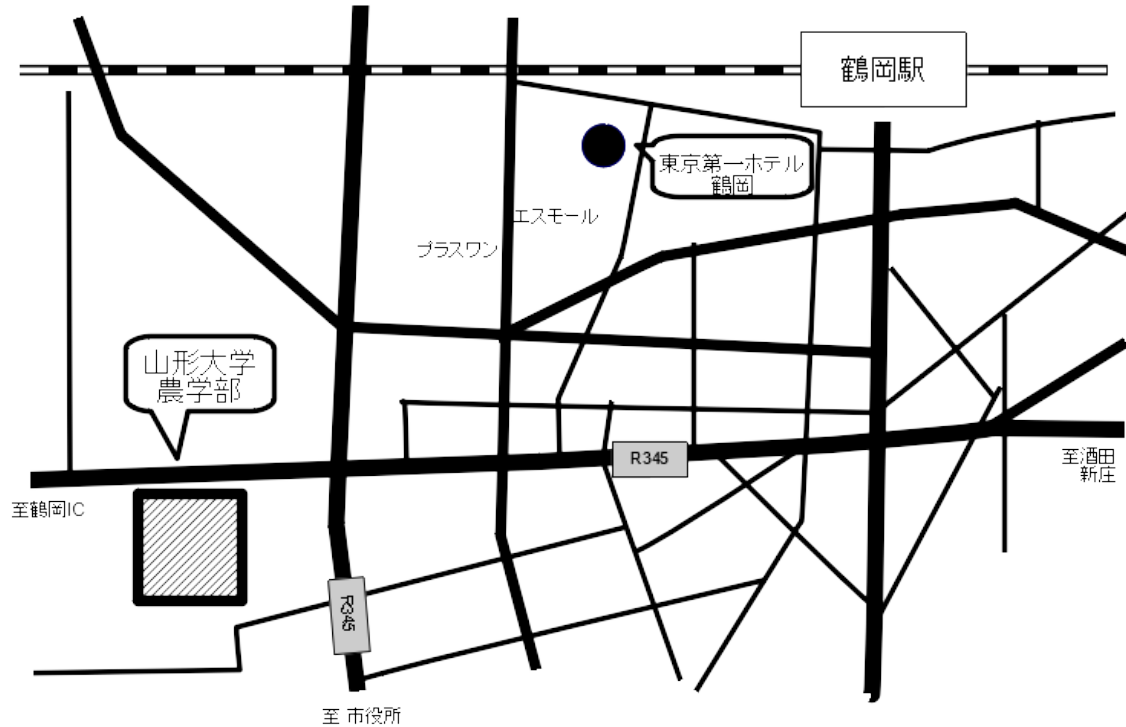
口頭発表は1題15分(発表12分、質疑応答3分)厳守でお願いします。発表者は、次の発表の座長を務めて下さい。使用機材は液晶プロジェクターです。配付資料のある発表者は御自身で必要枚数をご準備下さい。USBフラッシュメモリ等に保存したPowerPoint用ファイルを、当日口頭発表開始前までに会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンはWindows 10、PowerPointのバージョンは「2013」の予定です。円滑な進行のため、パソコンの持ち込みはお断りいたします。

- 9:45-10:00 1 ボイストラップ法による侵入初期のニホンジカ検知技術  
江成広斗(山形大農), 江成はるか(雪国野生動物研究会)
- 10:00-10:15 2 痕跡のeDNAに基づいたニホンジカの生息状況  
高橋裕史, 相川拓也(森林総研東北), 長岐昭彦(秋田県林研セ)
- 10:15-10:30 3 秋田県におけるニホンジカの越冬箇所探索  
長岐昭彦(秋田県林研セ), 高橋裕史, 相川拓也(森林総研東北)
- 10:30-10:45 4 地方自治体における木質バイオマスエネルギー普及政策の課題—山形県を事例に—  
伊藤幸男(岩手大農), 小板橋さゆり, 佐藤光弘(元岩手大院), 高野涼(岩手大農),  
滝沢裕子, タタロウワ・ナデジダ(岩手大院連農)
- 10:45-11:00 5 ダイナミック回帰モデルによるスギ中丸太の価格予測  
道中哲也(森林総研東北)
- 11:00-11:15 6 根が牽引する樹木地上部成長:根系育成による省力化  
森 茂太(山形大農), 黒澤陽子, 王莫非(岩手大院連農)
- 11:15-11:30 7 岩手県民有林における下刈作業軽減を目的とした林地除草剤散布有効地の面積と下刈対象植生  
外館聖八朗(ノースジャパン素材流通協同組合)

## 会場等の案内

会場へのアクセスは、公共交通機関等をご利用ください。宿泊については各自ご対応ください。

大会会場案内図



### 【山形大学農学部】

JR 鶴岡駅から徒歩 15 分

鶴岡エスマールバスターミナルから徒歩 10 分

### 【東京第一ホテル鶴岡】

鶴岡エスマールバスターミナルとなり

### 大会に関する問い合わせ先

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3-18-8 岩手大学農学部森林科学科内

第 24 回東北森林科学会大会運営委員会事務局

TEL & FAX 019-621-6141(白旗 学)

E-mail:kikaku@tsfs.jp

### 第 24 回東北森林科学会大会運営委員会

立川史郎 (岩手大学農学部: 委員長), 齊藤正一 (山形県森林研究研修センター), 井良沢道也 (岩手大学農学部), 白旗 学 (岩手大学農学部: 事務局)